



夏も読書 -読解力を養おう！- 校長 中野博史

1学期が終わります。どんな1学期だったでしょうか。ぜひ、雄志中のHPの「学校の様子」コーナーの写真などを見ながら、親子でこの1学期を振り返ってみてください。

さて、皆さん、本や新聞を読んでいますか？ 大人も子どももデジタルの情報ばかりで、本や新聞から遠ざかっていませんか。「読書をしなくなった（活字を読まなくなった）ことが、子どもたちの学力低下の原因の一つになっている」という記事を、先日、読みました。

新聞や本をたくさん読むと、「読解力」が養われるという話を聞いたことはあると思います。私も、学生の頃は、読解力を養おうと新聞や本をとにかくたくさん読んでいました。ところが、先日読んだ記事には、『「速読」や「多読」などの読書方法では、知識や情報を得ることはできるが、ただ読んでいるだけでは、読解力は身に付かない』と書いてありました。筆者の主張や登場人物の気持ちなどを考えながら熟読すること、つまり、「思考しながら読む」ことが読解力の育成にとっても有効なのだそうです。また、そのように読むことができるようになると、相手の気持ちや他者の気持ちを推しはかることができるようになり、コミュニケーション力も高まるそうです。

国語の授業では、教科書の題材について仲間と意見交換をしながら内容を深く読み込み、文章を要約したり、作者の主張を自分の言葉でまとめたりすることで、読解力の育成を図っています。家庭では、学校の授業と同様のことはできませんが、親子で同じ本を読み、本の内容について意見交換したり、読んだ本の内容について子どもが親に説明をしたりすると、読解力の育成効果が高まるそうです。

子どもたちにとっては、夏休みはまとまった時間があり、読書をするのにもってこいの時期です。読解力は全ての教科の基礎的な学力です。本は図書館で借りればお金もかかりませんし、脱ゲーム・脱スマホも図れて、一石二鳥です。

読書が苦手な人もいます。まずは、興味のある小説や趣味に関わる本、自分の将来のためになりそうだった本を手にとるところからスタートしましょう。参考までに、13歳、14歳という言葉がタイトルに含まれている本で、ぜひ、中学生に読んでほしい本を紹介します（次頁）。13歳、14歳は、成長期でありながら、社会的役割や自分の進路も意識しはじめる思春期真っただ中の多感な年頃ですので、その年代向けに多くの本が出版されています。いずれも共感できる内容となっていますので、読みやすいと思います。ぜひ、読んでみてください。大人が読んでとても興味深い本です。ちなみに、高校卒業前の高校生向けに「17歳」がタイトルに入った本もたくさんあります。

* 13歳、14歳という言葉がタイトルに含まれている本の紹介 (他にもたくさんあります)

『「自分だけの答え」が見つかる 13歳からのアート思考』 末永幸歩 (ダイヤモンド社)

- 「13歳から分かる! 7つの習慣 自分を変えるレッスン」 「7つの習慣」編集部 (日本図書センター)
- 「13歳からの頭がよくなるコツ大全」 小野田博一 (PHP 研究所)
- 「13歳のキミへ」 高濱正伸 (実務教育出版)
- 「13歳からのマナーのきほん 50」 アントラム栢木利美 (海竜社)
- 「13歳からのプレゼンテーション」 松永俊彦 (メイツ出版)
- 「14歳からの読解力教室: 生きる力を身につける」 犬塚美輪 (笠間書院)
- 「一生ものの「発信力」をつける 14歳からの文章術」 小池陽慈 (笠間書院)
- 「14歳の君へ — どう考えどう生きるか」 池田晶子 (毎日新聞出版)
- 「14歳からの映画ガイド」 朝井リョウ他 (河出書房新社)
- 「14歳からの天文学」 福江純 (日本評論社)

* ○印の本は、学校の図書館にあります。

<夏休み前に、親子でスマホ・ネットのルールの見直しを!>

ある日突然、スマホを持つようになり、マナーやリテラシーもよく分からないままにスマホを利用すると、トラブルを起こしてしまったり、トラブルに巻き込まれてしまったりする可能性があるということは、ほとんどの中学生は理解できているようです。しかしながら、オンラインゲームやLINE (ライン)、X (エックス *旧ツイッター)、Instagram (インスタグラム) などのSNSで、人間関係のトラブルや金銭のトラブルを経験する中高生はとて多くいます。また、使用時間が長くなり、スマホ・ネット依存で心身の健康を害してしまう中高生も多くいます。さらには、インターネット上の悪質なHPや不確かや不適切な情報に惑わされたり、心身によくない影響を受けたりし、進むべき道を誤ってしまう中高生も中にはいるようです。

これからの社会を生きていくためには、スマホやインターネットを適切に使用したり、活用したりできる力を身に付けることが大切ですが、何よりも適切な使用方法や活用方法について大人と子どもと一緒に学ぶことが重要だそうです。そこで、全国の学校やPTAなどで活用されている資料を紹介します。タイトルが「スマホ・ネット安全教室」となっていますが、端末の過度な使用による健康被害、ネット利用時のマナーやネットトラブルの事例などが詳しく解説されている動画やワークシートが、「小学校低学年向け」、「小学校高学年向け」、「中高生向け」、「保護者・教員編」と対象別に、それぞれ用意されています。

「NTT DOCOMO のスマホ・ネット安全教室」

<https://www.docomo.ne.jp/corporate/csr/social/safety/educational/>



夏休みは、ゲームやデジタル機器の利用時間が日頃より多くなる子どもたちが多いことと思います。是非、夏休みを迎える前に、親子でこの安全教室の動画を視聴し、家庭でのインターネットにつながる端末利用のルールや約束などを確認したり、見直したりしてください。

<夏休み中の主な予定>

23日(火) 1学期終業式 ***給食あり、給食後下校**

24日(水) ~ 26日(金) 期末面談

31日(水) ~ 8月2日(金) 3年生補充学習

9日(金) ~ 18日(日) 閉庁日(学校無人化)

22日(木) 3年生上進連テスト (要 お弁当)

29日(木) 2学期始業式 ***給食あり、5限後下校**

夏休みの生活に関するしおりや生活記録表などを親子でよく読み、充実した夏休みをお過ごしください!